

平成28年度 第2回新宿区産業振興会議 議事要旨

- 【日時】 平成28年9月2日（金） 午後4時～6時
- 【場所】 BIZ新宿（区立産業会館） 多目的ホール
- 【出席者】 委員：植田、川名、松尾、酒井、前田、志村、加藤、富田、益田、太田、遠藤各委員
事務局：村上文化観光産業部長、太田産業振興課長、黒澤産業振興係長、久野主任主事、
後藤産業創造プランナー
- 【欠席者】 河藤、友成各委員
- 【傍聴者】 2名
- 【配布資料】 省略
- 【内容】

1 開会

2 議 事

- (1) 「新宿区産業と企業等の事業活動に関する調査」中間報告
- (2) 「新宿区産業と企業等の事業活動に関する調査」ヒアリング調査と第二次アンケート
- (3) 次期「新宿区産業振興プラン」について

3 主な発言内容

○「新宿区産業と企業等の事業活動に関する調査」中間報告について

- ・「事業内容の見直し・変更の有無」、「今後の事業内容の見直し・変更予定の有無」の質問や、「重視している団体・ネットワーク」の質問、「後継者の有無」の質問で回答数が多い項目と、従業者数の規模で回答数が多かった従業者数1~4人の企業と相関関係があるのではないかと。
- ・新宿区は各地域で特徴のあるまちづくりがされているので、地域によって企業の考え方が違うのではないかと。中小企業が集まっている、大企業が多いなど、地域ごとの集計があるとこれから施策を考えていくときにいいと思う。そこから回答した企業がどういう企業なのかがわかるといい。
- ・地域別の特徴が分かると、新宿区全体に網をかけた施策ではなく、地域に根差した施策を考えることができるので、より素晴らしい施策になるのではないかと。
- ・事業所の概要で、ここ30年間は一定規模で創業しているということだが、産業分野別の創業の割合はどうか、さらに10年ごとに刻んでいくと、創業の産業分野が変わってきているのかが分かっていい。そこから創業の傾向や、新宿区内の事業所が今後どうなっていくのかが分かっていい。そして地域別に、どこの地域にどの業種の創業が増えているのかが分かると、地域によった支援の方向性がわかるのではないかと。

○「新宿区産業と企業等の事業活動に関する調査」ヒアリング調査と第二次アンケートについて

- ・商店街の状況は昨年度の「商店街のにぎわい創出に向けた調査報告書」の中で示されている。商店街の話の聞くと、どこの商店街も、一番大きな問題は後継者問題だと答えるが、個店レベルだと比率的には後継者問題よりも売上を増やしたい、顧客を増やしたいという意見が多い。商店街のヒアリングは、個店レベルで考えていることと商店街のギャップなどを踏まえながらヒアリングするといいいのではないかと。
- ・次代を背負う人が足りないという人材の問題を抱えている。また、70代の人間と今の20代の人間との意識の違いに大きなギャップがあると、最近感じている。そのあたりの意見やアイデア、方針をヒアリングの項目に入れてもらえるといい。
- ・今後期待できることの2番目が「まちのブランド力」、新宿区の支援の方向性に対する関心度も「まちのブランド力の向上」が2番目になっているが、まちのブランド力とは、具体的には何を言っているのかは、ここに書いてある内容だけではわからないので、ヒアリングで詳しく聞くといいと思う。
- ・新宿区の施策で期待することに、防犯防災の関心があるという数値が高めに出ているが、産業と防犯防災をどう結び付けていくのかというのは、ここだけでは解決できそうにないので、ヒアリングして

みるといいのではないかと思う。

- ・まちのブランド力に期待するといってもまちのブランド力というのは何を指しているのか、防災防犯に期待するというのも、防犯防災に関連して新しいビジネスができることを期待しているのか、従業員の安全を重視しているという話なのか、漠然としているので、もう少し詳細に聞いていく必要があると思う。

○次期「新宿区産業振興プラン」について

- ・10年先は、新宿区も日本の経済も各産業もどうなっているかわからないが、そのようなことも踏まえながら、従来の形にとらわれないものを作るのがいいのではないかと。
- ・他の自治体の計画も参考にして、従来のプランを踏襲しつつもそれにこだわらずに、より産業振興や地域の企業にとってプラスになる施策が打てるような振興プランにしていく必要がある。10年後のオリンピックの後の東京がどうなっているのか、誰も予想できないし、何が起きるか、どんな技術があるのかも分からない。どんな状態になっても対応できる企業、地域を作っていけるプランになるといい。
- ・アンケート調査結果を見ると、「ネットワークづくりの場の提供」への関心度が、あまり高くないという現状がある。「場と仕組みをつくる」というのは、産業振興会議の議論の流れでもあったし、その方向で間違っていないとは思いますが、これをどう埋めていくのか、どう考えていくのか問題だと思う。
- ・ネットワークづくりへの関心度については、創業した時期によって違いがあるのか、古い時期に創業して、新宿区でそれなりに根を張っている企業は比較的高いのか、反対に新しく来たところ、創業したての企業は低いのか、そのようにデータを精査して、どういった企業がネットワークづくりに弱いのかをしっかりと見たいうえで考えていく必要がある。
- ・商店街に、商店街のにぎわいが無くなった理由を聞くと、不足している業種があるとの回答が多い。それは生鮮食品や本屋など、そういう業種が欠けていると商店街としてうまくいかないという声である。ただ、なぜ欠けているかという儲からないからで、儲からない店が消えていく。そうなるとう商店街が歯抜け状態になって機能しなくなるという堂々巡りの状態になっている。そこをどういう視点で考えていくかということをはっきりさせないといけないと思っている。堂々巡りで悪循環になっていて、個店が消えるから商店街がダメになる、商店街がダメになるから個店がまた入ってこられなくなる。にぎわいがいから、個店が儲からないから入ってこられなくなる。その繰り返しの状態、悪循環からどう脱却していくのかというのを、総合的に出せるようなプランになるといい。

4 次回日程について (予定)

日 時：平成28年12月6日(火) 18:00から

会 場：BIZ新宿 多目的ホール

5 閉 会